

図書館だより

2021年

6・7月
合併号

編集・発行
指定管理者
図書館流通センター
出水営業所



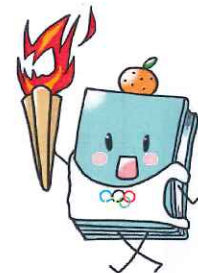
5月21日から新型コロナウイルス感染症感染予防対策として臨時休館しておりましたが、7月1日より開館いたしました。休館中は大変ご不便をおかけしました。今後ともマスク着用・手指消毒等、感染予防対策にご協力いただきながら、図書館・歴史民俗資料館をご利用頂きますようよろしくお願い申し上げます。

図書館・歴史民俗資料館 スタッフ一同

3館合同展示企画

「えほん DE オリンピック」開催します！

7月1日より各館で世界の国々の絵本を展示・貸出しております。また、オリンピック開催に併せて、7月20日～8月31日まで、子どもさん向けに世界の国々についてのクイズもあります。是非ご参加ください。



【7月の予定】

12日(月)
本で見守り隊(本の宅配サービス)

17日(土)午後
YA図書館クラブ 定例会
場所：中央図書館 研修室
高校生を対象とした活動

21日(水)～8月31日(火)
ものがたりクイズラリー
場所：高尾野図書館
10日間ごとにクイズが変わります。

18日(日)午前
「図書館を使った調べる学習コンクール」作り方講座
場所：中央図書館 研修室
小学生・中学生のご参加をお待ちしております！

20日(火)～23日(金)、27日(火)～30日(金)
ミステリー夏休み図書館探検
場所：中央図書館
小学5年生～中学3年生を対象に1日2人ずつ体験。
(事前申し込みが必要。初めての方を優先します。)

現在、出水市立図書館は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、お座席を半減して開館しております。又、読み聞かせ会等の行事も見合わせています。ご理解とご協力をお願いします。

郷土の伝染病から今を学ぶ

今回の新型コロナウイルスも海外からの帰国者の多い所で感染者が多く確認されているが、『感染症の日本史』(磯田道史著)文春新書によれば、長崎に近い天草の高浜村では、村人が「隔離小屋」を設けたようであると記されている。右記の天草災害年表には、安政五年(一八五八)、楠浦村中心にコレラ流行、翌年六月、コレラ再流行、文久二年(一八六二)、コレラ再三流行とある。『出水郷土誌』別冊『出水の年表・用語集』にも同時期に国内のコレラ死者数三万人の記述が見られ、石弘之著の『感染症の世界史』には「一八五八年には、ペリー艦隊のミシシッピ号にコレラに感染した乗組員がいたため、長崎に寄港したときにコレラが発生した。その後三年間にわたって流行した。その翌年は黒船や異国人に向ければ、開国が感染症を招いたとして攘夷思想が高まる一因になった」とある。

さて、『出水の歴史と物語』には、明治二十三年のコレラ疫病について次のようにある。同年夏、コレラが発生。七月二十四日から八月四日にかけて最もひどく、毎日三人乃至四人の死者が出た。米のとき汁みたいな便を一時間に何回となくもおし、全身の衰弱、悪寒発熱があり、口が乾き舌には苔ができた。出水郡や村の吏員、医者、警察官などの辛苦はその極に達したという。七月十七日から十月二十七日間の患者数は百人を突破、死亡者は六十一人に及んだという。患者は川向うや周辺に広がったという。当該村落では、縄張りして交通を遮断。役場は食料などの寄附を募り救済に努めた。又、付近の各集落では村境に青年団を張り番させて通行人の取り締まり、物々しい限りだった。

(元)出水市立図書館長 田島 英樹

出水市の郷土資料で『出水の歴史と物語』がある。この資料はタイトルにあるように物語調で読み易い。その中に、「コレラ墓」という見出しが登場する。この墓の場所は、八代海に面した通称「六十間堤防」の土手下にあったようである。自然石の墓石である。一説には元禄の頃、今釜新田の千拓工事の際の人柱との関連も伝えられている。工事は難工事であつたらしく、農民の献身によって完成の日を迎えたいらしい。時おり、疫病「コレラ」が流行り、その犠牲になった人々も含めて祭つたとされている。コレラは「酷烈辣」・「孤狼狸」などと音訳称され、文政五年(一八二二)、世界的な大流行が日本を襲った。天草災害年表史にも数次にわたりその記述がある。

時は過ぎ、大正七年(一九一八)、世界は「スペイン風邪」に見舞われた。先の『出水郷土誌』別冊『出水の年表・用語集』には、同年十月の出来事として「スペイン風邪大流行」とある。当時、出水では、初代の出水町公会堂が現在地に建設され、鹿児島銀行出水支店が上町に開店。日本がシベリアに出兵し、原内閣誕生の時期である。スペイン風邪は一九二〇年まで波が三波あり、当時の世界人口約十八億人のうち、その半数から三分の一が感染したこと知られている。『感染症の日本史』では、今回の新型コロナウイルスの終息までのロードマップとして参考となるのは、感染対策の記録が良く残されている事例として「スペイン風邪」を挙げている。当時の新聞記事の紹介が記述されている。

- 悪性感冒益猖獗す 余病を併発した患者の死亡率が急激に増加す
- 火葬場に於いては棺桶を積置きて・・・『上毛新報』一九一八年十月三十日付け
- 悪性感冒で全村惨死・・・『北海タイムス』一九一九年一月三〇日付け。これは、人口二七六人の会津地方吾妻村で二七〇名が死亡したことを伝える記事
- 入院は皆お断り 医者も看護婦も総倒れ 赤十字病院は眼科全滅・・・『東京朝日新聞』一九一九年二月三日付け

その他、軍隊、学校、工場、交通機関など細かく描かれている。又、ペナルティの外国と自粛要請の日本との違いも現在と同じように映る。百年前は、驚くことに京都においては修学旅行の受け入れは継続されていたり、青森県からの出稼ぎ者による感染増の実態が記されている。文字どおりウイルスは人に寄生し、人と共に移動することが理解できる。軍艦「矢矧」(やが)は「感染症の日本史」で、今回の新型コロナウイルスの終息までのロードマップとして参考となるのは、感染対策の記録が良く残されている事例として「スペイン風邪」を挙げている。当時の新聞記事の紹介が記述されている。

間違った物語ではない。スペイン風邪のときは米國ロサンゼルス市が行った「応急策として新取締規則を制定し、芝居・見世物・教会・学校、その他一切の公会を禁ずる」という対策を知った日本の領事、いち早く、これを外務省に送ったものの、それを聞いた内務省は同じような反応をしなかった。事が分かる。さらに、与謝野晶子は「政府はなせいち早くこの危険を防止するために、大兵隊、学校、興行物、大工場、大演習等、多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じたかったのでしょうか」と嘆息している。

当時は、第一次世界大戦のさなか、米価が高騰し米騒動が起きるなどの時代。為政者にとつて、国の舵取りは困難だったのかもしれない。同書では「感染者から見た歴史」も伝えている。京都の女性の十二歳から十六歳までの日記で修学旅行や運動会、お茶の会、おけいこなども全くと止らなかったことが分かるのである。現在でも、感染時濃厚接触者や感性経過などを把握するうえで「日記」の記録は不可欠に思われるものの新しい生活様式に含まれていない。結びに、同書の「文学者たちのスペイン風邪」に触れてみたい。核心情報は図書館が本屋でどうぞ。

- 志賀直哉の『流行感冒』
- 宮沢賢治が父親に宛てた感染した妹の報告書
- 斎藤茂吉の医師・患者書簡
- 永井荷風の日記『断腸亭日乗』

参考資料・・・『感染症の日本史』、『コロナ後の世界』

中央図書館	電話0996-63-2105	7月の休館日は	19日(定期)
高尾野図書館	電話0996-82-5452	"	16日(定期)
野田図書館	電話0996-84-3100	"	16日(定期)

今月の休館日は?

メールアドレス izumilibrary@iaa.itkeeper.ne.jp https://www.izumi-library.com

中央図書館の作業風景



開館中はなかなかすることが出来ない高所の清掃、いつか再開出来た時の為に読み聞かせの練習なども行いました。もちろん書架整理も行いました。



臨時休館中 こんなことをしました



返却された本は除菌機へ

休館中、返却ポストに返却された本は除菌機にかけ、それぞれ書架へ並べました。

(写真:高尾野図書館)



野田図書館の作業風景



絵本やシリーズものなど、並べる場所を変更し、本を見やすく、選びやすくするため、書架の見直しを行いました。



高尾野図書館の作業風景



棚の段数を増やしたり、並び替えをし、本の整理をしました。
(写真は医学関係の本が並んでいる場所です)

7月

開館に向けて



(写真:高尾野図書館)

ミニ企画展や
ぶち展、追悼
コーナーなど
装飾や本を整
え、皆さんに借
りていただく準
備をしました。

臨時休館中は、写真で紹介した他にも、普段から行っている作業から、休館中だからこそ行える作業をそれぞれの館で取り組みました。
今後とも、多くの方に図書館を利用していただけますよう、皆で努めてまいります。

